
プロジェクト 公正価値測定に関するガイダンス及び開示**項目 本日の検討の概要**

これまでの検討

1. 金融商品に関する公正価値測定に関するガイダンス及び開示について日本基準を国際的に整合性のあるものとするための取組みについては、第 122 回金融商品専門委員会（2017 年 11 月 21 日開催）（以下「専門委員会」という。）及び第 374 回企業会計基準委員会（2017 年 12 月 5 日開催）より検討を開始し、第 380 回企業会計基準委員会（2018 年 3 月 9 日開催）において、金融商品の時価のガイダンス及び開示に関して、国際的な会計基準との整合を図る取組みに着手する旨が確認されている。

また、第 381 回企業会計基準委員会（2018 年 3 月 26 日開催）において、金融商品以外の時価のガイダンス及び開示に関して、基本的に国際的な会計基準との整合を図る取組みに着手しない（ただし、トレーディング目的で保有する棚卸資産等の検討は別途行う。）旨が確認されている。

2. その後、第 126 回専門委員会及び第 383 回企業会計基準委員会より、次の事項について検討を行っている。

全般

- (1) 時価のガイダンス及び開示に関する会計基準等の構成及び基準開発の進め方

時価の定義及びガイダンス

- (2) 時価に関する会計基準等で取り扱う範囲
- (3) 時価の定義及びガイダンスに関する公開草案の様式、構成及び論点
- (4) 時価の定義及びガイダンスに関する会計基準及び適用指針の文案
- (5) 時価の定義及びガイダンスに関する設例
- (6) 時価の定義及びガイダンスについて実務に配慮することが考えられる項目
- (7) 時価のレベルに関する説明

開示

- (8) 金融商品の時価に関する開示の適用対象企業

- (9) 金融商品の時価に関する開示項目（全般的な開示項目及びレベル3を対象とする開示項目）

専門委員会	企業会計基準委員会
第126回（2018年4月23日開催）	第383回（2018年4月26日開催）
第127回（2018年5月15日開催）	第385回（2018年5月24日開催）
第128回（2018年6月1日開催）	第386回（2018年6月7日開催）
第129回（2018年6月20日開催）	第387回（2018年6月21日開催）
第130回（2018年7月3日開催）	第388回（2018年7月6日開催）
-	第389回（2018年7月24日開催）
第131回（2018年7月27日開催）	第390回（2018年8月13日開催）
第132回（2018年8月24日開催）	第391回（2018年8月27日開催）
第133回（2018年9月11日開催）	第392回（2018年9月12日開催）

なお、第133回専門委員会及び第392回企業会計基準委員会で聞かれた意見は、審議事項(2)-7に記載している。

本日の検討事項

3. 本日は、次の項目について、議論を行う。
 - (1) 時価の定義及びガイダンスについて実務に配慮することが考えられる項目の検討（審議事項(2)-2）
 - (2) 金融商品の時価に関する開示の適用対象企業（審議事項(2)-3）
 - (3) 時価の定義及びガイダンスに関する会計基準の文案（審議事項(2)-4）
 - (4) 時価の定義及びガイダンスに関する適用指針の文案の検討（審議事項(2)-5）
 - (5) 時価のレベルに関する説明（審議事項(2)-6）

以上